

令和7年度 第1回 杉並区立高井戸小学校 学校運営協議会 議事録

出席者：鬼澤、蕨南、蘆塚、秋山、中島、和田、下河、伊勢、廣野、山田

欠席者：内藤、奥田（新委員）

1 会長より

明後日は入学式。新年度、気持ちを新たにして、150周年に向けて取りくんでいければと思う。令和7年度もよろしくお願いいたします。

2 校長より

新年度を迎え、新たなメンバーを加え、児童のためにお力をお借りしたい。25学級、780名の児童で新年度をスタートします。

3 新委員の任命

中島新委員：5年前に子どもが卒業した。140周年の時に子どもが2年生であった。150周年の節目にまたご縁をいただいた。少しでも力になればと思っている。
（以後、各委員の自己紹介。）

4 年間予定の確認

伊勢：5月のCSの時間が短くなっているが、その日は、道徳授業地区公開講座があり、「赤鼻のセンセイ」のドラマ等で有名な、昭和大学大学院保健医療学研究科准教授、副島賢和先生を招いて、講演会を行う。是非、ご参会いただきたい。

鬼澤：150周年実行委員会と並行して開催するが、短い時間でも大事な協議の時間としたい。

5 学校だよりについて

伊勢：始業式で配布する学校だよりである。学校教育計画は、継続性を担保するためにも、大きく変更することはないが、今年度は、150周年を迎える年である。特に、未来に向けて、「がんばれば叶う」という経験をさせるために、児童主体の集会を計画している。今年度から、高学年で「教科担任制」を取り入れる。国語・算数については各担任が受け持つが、それ以外の教科については、教員の専門性を重視する。同じ授業を数回行うことで、授業の質が高まることが期待できる。教室配置については、必要に応じ、教室環境に不公平が無いように、学期ごとに入れ替えることも検討していく。

1学期については、夏休みの個人面談で評価を踏まえた児童の様子を伝えていく。それを通知表の総合所見に替える。また、5月には希望性の面談期間を設ける。学校公開については、昨年度の取組から平日の公開も計画している。「tetoru」を活用し、できるだけペーパーレス化を進める。

鬼澤：これまで学級担任制で指導を行ってきた小学校で、国の方針に基づくとはいえ、中学校のように教科担任制を導入していくことは初めての経験となるので、両担任制のよい点をうまく生かせるようなハイブリッドな実施方法を探求していく必要があると思う。

6 その他

次回の予定・5月10日（土）11時15分～